

全身全霊を傾けた真剣勝負

宮城正年さんが「宮城の名工」

12月1日、平成28年度の宮城県の卓越した技能者（通称「宮城の名工」）に刀工の宮城正年さん（刀匠名：宮城典真さん）が選ばれ、県職業能力開発関係表彰式で表彰を受けました。宮城さんは20歳からこの道に入り、これまでに日本美術刀剣保存協会が主催する新作名刀展で優秀賞を4度受賞してきました。宮城さんは「小さいころから師匠である父の仕事を身近に感じ、名刀を手にするうちに自分でも作ってみたいと思うようになりました。今後はさらに上位の賞がもらえるような刀を作りたいです」と充実感のある笑顔で話してくれました。



▲真っ赤に焼けた鋼を折り返し、何度も鍛錬する宮城さん

歩いて学ぼう！ 白石むかしさがし

白石・真田ゆかりの地を巡るウォーキング

11月23日、白石第二小学校で「白石むかしさがし～白石・真田ゆかりの地を巡るウォーキング～」が開催されました。この行事は、同校区子ども会育成会が初めて企画したもので、この日は児童や保護者、教員約80人が参加しました。

出発前の座学で片倉家と真田家のつながりを勉強した後スタート。片倉家廟所や當信寺など市内にある名所旧跡7カ所、約8kmを全員が最後まで元気いっぱい歩きぬきました。学校では、ポチ武者こじゅーろうが出迎え、昼食には芋煮も振る舞われて大満足の日となりました。



▲熱心に説明を聞く参加した児童と保護者たち

市民総ぐるみで交通安全を推進

第39回白石市交通安全市民大会

11月29日、「第39回白石市交通安全市民大会」をホワイトキューブで開催しました。この日は、交通安全関係機関や団体などから約250人が参加。大会では、交通安全功労者の表彰、白石警察署交通課の浅野貴課長と千葉崇主任が交通事故の原因などを説明し注意を呼び掛けたほか、JAF宮城支部事業課の佐藤達郎さんが「JAFデータから見た交通安全講習」と題し、冬期間の車の運転に対する危険性について講演を行いました。大会の最後には、「交通事故のない住みよいまちを築こう」と、市民一丸となった交通安全運動の推進が宣言されました。



▲冬道を運転する上での留意点を説明する佐藤さん

異文化を楽しみながら学ぶ

料理を通して世界を知る会

11月15日、「料理を通して世界を知る会」（白石市国際交流協会主催）を中央公民館で行いました。この日は「みやぎモンゴルの子ども達を応援する会」と仙台在住のモンゴルからの留学生などの協力を迎えモンゴルの料理や文化、音楽などを参加者約30人が体験。ポーズ（シューマイ）、ホーショール（揚げギョーザ）、羊肉入りうどんなどを調理しながら互いに交流を深めました。また、馬頭琴とホーミー歌手らによるモンゴル音楽の集いもあり、独特の音色に参加者は聴き入ったり、モンゴル衣装の体験をしたりして異国の文化を楽しみました。



▲モンゴルからの留学生にポーズの作り方を教わる参加者たち

100歳おめでとうございます

佐藤カツさんに松竹梅敬老祝金

12月12日に100歳を迎えた佐藤カツさんを山田市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。カツさんは神奈川県海老名市のご出身。川崎市料亭に勤めた時に、料亭で働く夫と結婚。戦火を避け夫の故郷白石に移り住み、農業をしながら4人の子どもを育てました。現在は孫が11人、ひ孫が9人います。趣味は旅行で、夫婦でよく温泉に出掛けたそうです。長生きの秘訣を家族は「好き嫌がなく何でもよく食べること」と話してくれました。この日、カツさんは「ありがとう。ありがとう」と何度も感謝の気持ちを伝えていました。



▲カツさんの長寿を祝うご家族や施設職員と山田市長

きれいになってよかった

第26回白石市スポーツ少年団が奉仕活動

12月4日、「第26回白石市スポーツ少年団奉仕活動」が白石城で行われました。この活動は、市内の施設の美化活動を通し、子どもの公共心を育て、健全育成を図ることを目的に開催。今回も野球、空手、柔道、剣道、ドッジボールなどの市内スポーツ少年団13団体の団員や保護者、指導者約280人が参加しました。参加者は朝8時からの約1時間、白石城やその周辺を清掃。約70袋の落ち葉を拾い集めました。団員たちは「白石城の周りがきれいになってよかったです。これからもこの活動を続けていきたいです」と話してくれました。



▲益岡公園駐車場の落ち葉拾いをする団員や保護者たち

珍しい楽器の音色に感動！

市内小中学校で音楽アウトリーチ

11月29日と30日の2日間、演奏家が学校や地域を訪問してコンサートを行う「音楽アウトリーチ」が市内の小中学校で開催されました。今回訪問したのは二胡演奏家の沈琳さんと琴奏者のてみさん。11月30日に訪れた大平小学校では、「花」や「賽馬」など数曲を演奏しました。その後、児童たちは、実際に楽器を手に持ち、演奏を体験。この日の最後には、「ふるさと」を2人の演奏に合わせて合唱しました。児童たちは「きれいな音色を出せてたのしかったです」「二胡の音色は想像と違ってとてもきれいな音色でした」と話してくれました。



▲2人の演奏に合わせて同校の全校児童で「ふるさと」を大合唱！

良好な地域社会づくりに貢献

中島恒壽さんが総務大臣表彰

12月2日、「地縁による団体功労者総務大臣表彰」を受けた中島恒壽さんが市役所を訪れ、佐々木徹前副市長に受賞の喜びを話しました。中島さんは、平成10年から越河第10区自治会長に就任。高齢化及び高齢者世帯が増加する地域において、地区住民による各種行事を開催するなど地域内コミュニティの維持に力を入れ、子育て世代や高齢者世帯を含めた地域の安定した生活環境のため尽力されました。平成20年からは白石市自治会連合会越河支部支部長も務め、地域コミュニティの維持や防災意識の向上に大きく貢献しました。



▲表彰状を手に佐々木前副市長と記念撮影する中島さん（左）